

田植特集

今年は大気変動がいちじるしいですね。関東地方はもう夏の暑さだとか。気温差に負けて夏ばてにならないように気をつけてくださいね。さて、佐渡島内では5月13日に島外のお客様を交えて田植エツアーを行い、田植え体験や生きもの調査をしたり、佐渡島内をめぐったりしました。佐渡島内で行っている環境との調和に配慮した営農法の実施の変化による効果を皆で体験して、知ってもらうことが目的です。環境教育活動と関連して、佐渡市で田植エツアーを募集したところ、たくさんの方が参加して当日は多くの人で賑わいました。



↑皆で列になって一斉に田植えをしました

↑ どんないきものが住んでいるのかな？
捕まえた生きものをABCに分けて、この田んぼの循環スタイルを学びました



田植えが始まりました♪

4月に起きた暴風雨でハウスが半壊した農家などは、田植えは終わっていないようですが、島内のほとんどの農家さんでは田植え作業が終わりを迎えているようです。移植した苗も順調に生育していますが、今後の天候の変化で生育状況は大きくかわっていきそうです。

* トキ情報 *

ヒナの巣立ち

4月22日付けで確認されたトキのヒナはすくすく育ち、巣立ちは5月下旬の予定です。巣の上でバタバタ羽ばたかせて飛ぶ練習や、飛ぶ際に必要な風切羽（かぜきりばね）も生えそろっていて、巣立ちの準備は順調に進んでいるようです。中国によれば生後1年までの野生トキの生存確率は50%との報告があり、全てのヒナが順調に巣立ちさらに1年越せるといことは難しいと考えられます。まず第一歩として、巣立ちが無事できますように今後も見守り続けていきます。

トキのカップル

17日現在で3組のカップルが誕生し、ヒナは7羽になりました。抱卵中のカップルは現在5組おり、トキは6月まで繁殖期が続くため、さらなるベビーラッシュが期待されます。



この子の名前は何になるのかしら・・・

編集人；佐渡農業協同組合
営農部米穀課 渡部・古城(ふるき)
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp